

江戸にゃんこ -浮世絵ネコづくし-

前期:2023年4月1日(土)~4月25日(火) 後期:4月29日(土祝)~5月28日(日)

※ リストの番号は展覧会図録の番号と一致しています。作品の展示順とは一致しません。予めご了承下さい。

※期間中、展示替えを行います。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

図録No.	絵師名	作品名	年代	判型	所蔵先	前期	後期
1	歌川国芳	猫の当字 かつを	天保14年(1843)3月頃	大判	個人蔵		
2	歌川国芳	猫の当字 たこ	天保13年(1842)頃	大判	個人蔵		
3	歌川国芳	猫の当字 なまづ	天保14年(1843)3月頃	大判	個人蔵		
4	歌川国芳	猫の当字 ふぐ	天保13年(1842)頃	大判	ギャラリー紅屋蔵		
5	歌川国芳	猫の当字 うなぎ	天保14年(1843)3月頃	大判	恵コレクション		
6	歌川国芳	其まゝ地口 猫飼好五十三疋 上中下	嘉永元年(1848)頃	大判3枚続	ギャラリー紅屋蔵		
7	歌川国芳	たとゑ尽の内	嘉永5年(1852)4月	大判3枚続	ギャラリー紅屋蔵		
8	歌川国芳	流行猫の曲鞠	天保12年(1841)	大判	個人蔵		
9	歌川国芳	流行猫の曲手まり	天保12年(1841)	大判	個人蔵		
10	歌川国芳	流行猫の曲鞠	天保12年(1841)	団扇絵判	個人蔵		
11	歌川国芳	猫のおどり	天保12年(1841)頃	団扇絵判	個人蔵		
12	歌川国芳	猫の百面相 (忠臣蔵)	天保12年(1841)頃	団扇絵判	個人蔵		
13	歌川国芳	猫の百面相 (荒獅子男之助ほか)	天保12年(1841)頃	団扇絵判	個人蔵		
14	歌川国芳	猫の百面相 (歌右衛門ほか)	天保12年(1841)頃	団扇絵判	個人蔵		
15	歌川国芳	二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)8月	大判	個人蔵		
16	歌川国芳	十二代目市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあはしま	天保12年(1841)8月	大判2枚続	個人蔵		
17	歌川国芳	乱朝恋山崎 上の巻	天保12年(1841)8月	大判3枚続	個人蔵		
18	歌川国芳	流行猫じやらし	天保12年(1841)頃	袋(木版多色摺)	個人蔵		
19	歌川国芳	流行猫のおも入	天保12~13年(1841~42)頃	大判	ギャラリー紅屋蔵		
20	歌川国芳	絵鏡台合かゝ身 猫ノしゝ・みゝづく・はんにやあめん	天保13年(1842)頃	団扇絵判2枚組	ギャラリー紅屋蔵		
21	歌川国芳	流行猫の狂言づくし (定九郎ほか)	天保12~13年(1841~42)頃	大判	恵コレクション		
22	歌川国芳	流行猫の狂言づくし (熊ヶ谷次郎直実ほか)	天保12~13年(1841~42)頃	大判	恵コレクション		
23	歌川国芳	三段目	天保12年(1841)頃	団扇絵判	個人蔵		
24	歌川国芳	たこさかな	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵判	個人蔵		
25	歌川国芳	双蝶々曲輪日記 角力場	天保13年(1842)	団扇絵判	個人蔵		
26	歌川国芳	鏡見山	天保13年(1842)	団扇絵判	個人蔵		
27	歌川国芳	猫の舞踊	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
28	歌川国芳	二面籠猫絵	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
29	歌川国芳	見立猫見八貝(画稿)	天保12~13年(1841~42)頃	紙本墨画	個人蔵		
30	歌川国芳	猫身八毛意	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵判	個人蔵		
31	歌川国芳	からす猫夜のあめ 白のぼせて	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵判	個人蔵		
32	歌川国芳	くつろぐ夏の猫美人たち	天保13年(1842)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
33	歌川国芳	猫の源氏 賢木	天保13年(1842)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
34	歌川国芳	猫の左仮	弘化3年(1846)	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
35	歌川国芳	当流猫の六毛撰	弘化元~3年(1844~46)	団扇絵判	個人蔵		
36	歌川国芳	おぼろ月猫の盛	弘化3年(1846)	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
37	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		
38	歌川国芳	流行猫の戯 道行猫柳婬月影	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		
39	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞気罵責段	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		
40	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭姪色時	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		
41	歌川国芳	流行猫の戯 かゞみやな 草履駢の段	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		

42	歌川国芳	国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助	弘化2年(1845)頃	大判	個人蔵		
43	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 (黄腰壁)	嘉永元年(1848)頃	大判3枚続	太田記念美術館蔵		
44	落合芳幾	与ハなさけ浮名の横ぐし	万延元年(1860)8月	大判	個人蔵		
45	落合芳幾	虎の豹姿 戯遊鈴ヶ森	万延元年(1860)8月	大判2枚続	個人蔵		
46	豊原国周	玊猫見立善悪競	明治17年(1884)10月29日御届	大判3枚続	個人蔵		
47	歌川芳藤	五拾三次之内猫之怪	弘化4年(1847)	大判	個人蔵		
48	歌川芳藤	猫の子の小猫を十九あつめ大猫とする	弘化4~嘉永元年(1847~1848)頃	大判	個人蔵		
49	作者不詳	縁先二美人	宝永~享保(1704~36)頃	紙本着色1幅	太田記念美術館蔵		
50	鈴木春信	春の縁先	明和5~7年(1768~70)頃	中判	個人蔵		
51	鈴木春信	風流五色墨 素丸	明和5~7年(1768~70)頃	中判	太田記念美術館蔵		
52	磯田湖龍斎	竹林猫雀図	安永(1772~81)頃	細判	個人蔵		
53	北尾重政	美人戯猫図	天明5年(1785)6月	絹本着色1幅	太田記念美術館蔵		
54	石川豊信	『絵本教訓種』	安永8年(1779)刊	半紙本3冊のうち1冊	太田記念美術館蔵		
55	勝川春潮	『絵本栄家種』	寛政2年(1790)刊	半紙本1冊	太田記念美術館蔵		
56	歌川豊国	美人戯猫図	寛政後期(1795~1801)頃	絹本着色1幅	太田記念美術館蔵		
57	歌川豊国	猫じやらし	文化5~6年(1808~09)頃	竪大判2枚続	個人蔵		
58	歌川豊国	浮世舞台香 松助風	文化7~9年(1810~12)頃	大判	個人蔵		
59	菊川英山	猫を抱く娘	享和~文化前期(1801~07)頃	竪大判2枚続	個人蔵		
60	歌川国貞	美人合 春曙	文政(1818~30)後期	大判	個人蔵		
61	歌川貞景	江戸自慢美人揃	天保2年(1831)頃	大判3枚続	個人蔵		
62	歌川国芳	当盛美人合 五節句の内 青陽	天保2~4年(1831~33)頃	大判	個人蔵		
63	歌川国貞	子宝遊	天保後期(1838~42)頃	大判	個人蔵		
64	歌川国芳	譬諭草をしへ早引 砥	天保14年(1843)	大判	個人蔵		
65	歌川国芳	婦女鏡 豊	弘化元~3年(1844~46)頃	大判錦絵	個人蔵		
66	歌川国芳	新良万造(爪切り)	天保14~弘化元年(1843~44)	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
67	歌川国芳	五行之内 針の金性	天保14~弘化2年(1843~45)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
68	歌川国芳	猫と遊ぶ娘	弘化2年(1845)頃	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
69	歌川国芳	絵兄弟やさすかた(鶴退治)	弘化2~3年(1845~46)頃	大判	個人蔵		
70	歌川国芳	虫撰 こがねむし	弘化2~3年(1845~46)頃	大判	個人蔵		
71	歌川国芳	園中八せん花(菊)	弘化元~3年(1844~46)	団扇絵判	個人蔵		
72	歌川国芳	初雪の戯遊	弘化4~嘉永3年(1847~1850)	大判3枚続	個人蔵		
73	歌川国芳	七婦久人(寿老人)	弘化4~嘉永元年(1847~1848)頃	大判	個人蔵		
74	歌川国芳	大津絵八景 神なりのよるの雨	嘉永2~5年(1849~52)	団扇絵判	個人蔵		
75	歌川国芳	山海愛度図会 七 ヲいたい 越中滑川大蜻	嘉永5年(1852)8月	大判	個人蔵		
76	歌川国芳	山海愛めてたいづゑ 十九 はやくめたい 播州高砂蜻	嘉永5年(1852)8月	大判	個人蔵		
77	歌川国芳	艶曲揃	嘉永6年(1853)2月	団扇絵判	ギャラリー紅屋蔵		
78	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい	明治11年(1878)1月御届	大判	個人蔵		
79	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	安政4年(1857)11月	大判	太田記念美術館蔵		
80	歌川広重	『浮世画譜』三編	天保(1830~44)頃刊	半紙本3冊のうち1冊	個人蔵		
81	歌川貞秀	猫を抱き上げる美人	江戸末期(1830~68)頃	絹本着色1幅	個人蔵		
82	溪斎英泉	吉原美人 扇屋内花窓	天保(1830~44)頃	大判	個人蔵		
83	歌川国貞(三代豊国)	難有御代ノ賀界絵(水茶屋)	弘化元~3年(1844~46)	大判	個人蔵		
84	月岡芳年	古今比売鑑 薄雲	明治8~9年(1875~76)頃	大判	個人蔵		
85	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月 六月 入谷の朝顔 新ばし 福助	明治13年(1880)3月23日御届	大判	個人蔵		
86	歌川国芳	浮世与しづ久志	弘化4~嘉永元年(1847~1848)頃	大判2枚続	個人蔵		
87	歌川国芳	流行逢都絵希代稀物	嘉永元年(1848)頃	大判3枚続	ギャラリー紅屋蔵		
88	南仙笑楚満人作・鳥居清峰画	『猫のそふし』(猫のよめいり)	文化3年(1806)刊		個人蔵		
89	佚斎禱山	『田舎荘子』巻下「猫之妙術」	享保12年(1727)刊	半紙本1冊	個人蔵		

90	歌川国芳	古猫妙術説	弘化4～嘉永3年(1847～1850)	大判	個人蔵		
91	歌川国芳	猫の妙術	弘化4～嘉永3年(1847～1850)	大判	個人蔵		
92	歌川国芳	女三宮	天保13年(1842)頃	大判竪2枚続	ギャラリー一紅屋蔵		
93	歌川国安	青楼若三人 女三の宮	文化12～天保3年(1815～32)	大判	個人蔵		
94	歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之巻人 扇屋内花ぞの	文政末～天保初期(1826～32)頃	大判	個人蔵		
95	勝川春亭	鎌田又八	文化(1804～1818)後期	大判	太田記念美術館蔵		
96	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角	天保9年(1838)頃	大判	個人蔵		
97	歌川貞秀	東海道五十三次之内 岡崎	天保6年(1835)	大判	個人蔵		
98	歌川国芳	五十三次之内 岡崎の場	天保6年(1835)	大判3枚続	個人蔵		
99	歌川国貞(三代豊国)	「花筵嵯峨猫魔稿」	嘉永6年(1853)7月	大判3枚続	個人蔵		
100	歌川国貞(三代豊国)	五十三次ノ内 岡崎丸子ノ間 宇津谷猫石	安政元年(1854)閏7月	大判3枚続	個人蔵		
101	歌川国貞(三代豊国)	「東駅いろは日記」	文久元年(1861)6月	大判3枚続	個人蔵		
102	歌川国貞(三代豊国)	東駅いろは日記 岡崎	文久元年(1861)7月	大判	個人蔵		
103	歌川国芳	東海道五十三対 岡部	弘化2～3年(1845～46)頃	大判	個人蔵		
104	二代歌川国貞	「櫓太鼓鳴音吉原」	慶応2年(1866)正月	大判3枚続	個人蔵		
105	歌川芳員	百種怪談妖物双六	安政5年(1858)9月	錦絵4枚継 49.4×70.2cm	太田記念美術館蔵		
106	安達吟光	ふるねこのゑんくわい	明治16～33年(1883～1900)頃	四ツ切判	個人蔵		
107	歌川国芳	心学稚絵得 猫鼠対酌	天保14年(1843)頃	中短冊判	個人蔵		
108	一荷堂半水作・歌川芳梅画	『諺 臍の宿替』『猫が茶ふく』	文久(1861～64)頃カ	折帖1冊	個人蔵		
109	二代歌川広重	しめたしめた袋の鼠	慶応4年(1868)閏4月	大判2枚続	個人蔵		
110	一交斎小芳盛	高運不運 兎の盛衰	明治6年(1873)12月	大判2枚続	個人蔵		
111	山東京山作・歌川国芳画	『朧月猫の草紙』初編～七編	天保13～嘉永2年(1842～49)刊	中本 各上下14冊	個人蔵		
112	歌川国芳画	『朧月猫の草紙』二編～七編袋	天保13～嘉永元年(1842～49)刊	各約17.3×11.8cm	個人蔵		
113	五世鶴屋南北作・歌川国芳画	『東海道五十三駅』初編～三編	天保7・8・12年(1836・37・41)刊	中本 各上下6冊	個人蔵		
114	鶴亭秀賀作・二代歌川国貞画	『金花七変化』第六編・第二十五編	文久2年(1862)・慶応3年(1867)	中本 各上下4冊	個人蔵		
115	仮名垣魯文作・歌川芳虎、月岡芳年、落合芳幾画	『黄金花猫目鬘』初編～六編	文久3～慶応4年(1863～68)刊	中品 各上下14冊	個人蔵		
116	歌川芳虎、月岡芳年、落合芳幾画	『黄金花猫目鬘』初編～七編袋	文久3～慶応4年(1863～68)刊	各約17.7×12.2cm	個人蔵		
117	仮名垣魯文作・歌川芳虎画	『金鈴善悪譚』初編～六編	慶応元～4年(1865～68)	中本 各上下12冊	個人蔵		
118	月岡芳年	美勇水滸伝 魔陀羅丸	慶応3年(1864)4月	中判	個人蔵		
119	竹柴金作作・四代歌川国政画	『嵯峨奥妖猫奇談』	明治13年(1880)刊	中本1冊	個人蔵		
120	高島藍泉(三世柳亭種彦)編	『春色黄金花』	明治17年(1884)4月脱稿・9月刊	1冊	個人蔵		
121	作者不詳(ジェイムズ夫人訳)・鈴木宗三郎画	『しっぺい太郎』	明治21年(1888)	チリメン本1冊	個人蔵		
122	歌川国芳	鼠よけの猫	天保13年(1842)頃	大判	ギャラリー一紅屋蔵		
123	歌川芳艶	猫ねつみどうけかつせん	弘化元～3年(1844～46)	大判錦絵3枚続	個人蔵		
124	歌川芳艶	猫ねつみどうけかつせん	弘化元～3年(1844～46)	大判錦絵3枚続	個人蔵		
125	月岡芳年	猫鼠合戦(菓子袋・石見銀山)	安政6年(1859)	中判2丁掛	個人蔵		
126	月岡芳年	猫鼠合戦(またたび・居眠り)	安政6年(1859)	中判2丁掛	個人蔵		
127	月岡芳年	猫鼠合戦(犬張子・鼠おとし)	安政6年(1859)	中判2丁掛	個人蔵		
128	二代歌川国貞	花盛土農工商	嘉永2～5年(1849～52)	大判3枚続	個人蔵		
129	新田道純	新田猫	19世紀前半(1818～54)頃	紙本淡彩1幅	個人蔵		
130	渡辺周溪・貞斎泉晁	たけの休	天保(1830～44)頃	大判	個人蔵		
131	楊洲周延	衣襲明神之像 鼠よけ猫	明治20年代	多色摺木版画 22.3×10.5cm	個人蔵		

132	英斎	繭やしない草	明治2年(1869)9月	大判3枚続	個人蔵		
133	四代歌川国政	蚕やしなひの図	明治20年(1887)10月	大判3枚続	個人蔵		
134	歌川広重	浄るり町繁花の図(せうちう屋)	嘉永5年(1852)8月	大判	太田記念美術館蔵		
135	歌川国芳	玉揃 舞だま	安政2年(1855)2月	団扇絵判	ギャラリー一紅屋蔵		
136	作者不詳	招猫黄金の新富	明治16年(1883)10月御届	大判	個人蔵		
137	梅堂小国政	猫	明治24~34年(1891~1901)頃	団扇絵判	太田記念美術館蔵		
138	月岡芳年	歌川国芳肖像	明治6年(1873)	紙本淡彩1幅	太田記念美術館蔵		
139	歌川芳員	猫の狂言づくし	安政2年(1855)9月	大判	個人蔵		
140	歌川芳員	道外づくし 猫の世界	安政6年(1859)8月	大判	個人蔵		
141	鳥居清国	けいやうづくし	安政5年(1858)12月	大判3枚組	個人蔵		
142	四代歌川国政	しん板猫のそばや	明治6年(1873)10月	大判	太田記念美術館蔵		
143	作者不詳	しん板猫の鰻屋	明治時代(1868~1912)	大判	個人蔵		
144	小林幾英	しん板猫の牛肉屋	明治12年(1879)10月10日御届	大判	個人蔵		
145	歌川芳藤	しん板猫のあきんどづくし	慶応4年(明治元/1868)8月	大判	太田記念美術館蔵		
146	歌川芳虎	しん板ねこのおさらい	慶応元~明治6年(1865~73)頃	大判	個人蔵		
147	歌川芳虎	新板ねこの手ならひ師匠	慶応元~明治6年(1865~73)頃	大判	太田記念美術館蔵		
148	四代歌川国政	しん板猫の手ならひ師匠	慶応元~明治22年(1865~89)頃	大判	個人蔵		
149	歌川芳藤	新板猫の戯画	明治16年(1883)7月5日御届	大判	個人蔵		
150	歌川国利	新板浄瑠璃合	明治17年(1884)2月御届	大判	個人蔵		
151	歌川国利	新板猫の弥次喜太八	明治14年(1881)御届	大判	個人蔵		
152	歌川芳藤	しん板猫のよめ入	明治16年(1883)7月12日御届	大判	個人蔵		
153	歌川芳藤	新板戯猫の忠臣蔵	明治15年(1882)12月御届	大判	個人蔵		
154	歌川国利	しん板猫のはなし	明治10年代(1877~86)	大判	個人蔵		
155	望斎秀月	新板ねこの温泉	明治18年(1885)5月御届	大判	個人蔵		
156	歌川芳藤	新板猫の温泉	明治21年(1888)4月印刷・出版	大判	個人蔵		
157	歌川国利	しんばん猫の川がり	明治18年(1885)御届	大判	個人蔵		
158	小林幾英	しん板猫のどうづき	明治16年(1883)11月御届	大判	個人蔵		
159	小林幾英	新板階のりのづ	明治17年(1884)10月御届	大判	個人蔵		
160	小林幾英	しん板猫のたハむれ	明治14年(1881)2月御届	大判	個人蔵		
161	歌川芳藤	しん板猫のかるわざ	明治前期(1868~87)頃	大判	個人蔵		
162	歌川国利	新版猫の玉のり	明治28年(1895)12月印刷・同7日出版	大判	個人蔵		
163	歌川芳春	猫角力あそび	明治前期(1868~88)頃	大判	個人蔵		
164	作者不詳	新板けもの角力	明治時代(1868~1912)	大判	個人蔵		
165	歌川芳藤	新板猫の三がい略図	明治前期(1868~87)頃	大判	個人蔵		
166	小林幾英	新板猫の勉強学校	明治20年(1887)頃	大判	個人蔵		
167	四代歌川国政	新板猫之学校	明治9年(1876)11月27日御届	大判	個人蔵		
168	永島春暁(虎重)	流行ねこのあそび	明治10年代(1877~86)カ	大判	個人蔵		
169	歌川芳藤	しん板ねこのたわむれ 西洋床	明治前期(1868~87)頃	大判	個人蔵		
170	作者不詳	新板猫の海水浴行	明治22年(1889)8月印刷・発行	大判	個人蔵		
171	作者不詳	志んばん猫の国かい	明治20年代(1887~96)	大判	太田記念美術館蔵		
172	歌川国利	志んばんねこ尽	明治23年(1890)印刷・出版	大判	個人蔵		
173	二代歌川国明	しんはん猫つくし	明治16年(1883)2月20日御届	大判	太田記念美術館蔵		
174	作者不詳	大なまづ ねこのたハむれ	明治時代(1868~1912)	大判	個人蔵		
175	牧金之助	佐賀夜桜猫退治	明治20年(1887)2月18日御届	大判	個人蔵		
176	歌川芳藤	しん板どうけかつらつけ	明治前期(1868~87)頃	大判	個人蔵		
177	歌川国直	新板猫相撲づくし	明治18年(1885)10月御届	大判	個人蔵		
178	永島春暁	改良せりふ附うつし糸	明治29年(1896)2月7日印刷・同年2月10日発行	大判	個人蔵		
179	歌川芳藤	いろは替手本	明治前期(1868~87)頃	大判	個人蔵		
180	作者不詳	大新板猫のいしよう付	明治前期(1868~88)頃	16.2×36.1cm	個人蔵		